

大牟田市立明治小学校

1 本校のESDの特徴

本校周辺には、市のリサイクル施設（エコサンクセンター）やリサイクル関連企業があり、環境について学ぶのに大変適した環境であるといえる。

本校は、エネルギー環境教育のシニア校であり、第1学年から第6学年までの全ての学年でエネルギーに関する系統的なカリキュラムを確立しており、エネルギー環境教育を中心としたESDに取り組んでいる。そして、エネルギーや自然・環境への関心を深め、「省エネ・省資源」「自然・環境の保全・美化」を自分事として実践すると共に、学びを発信できる子どもを育てることを目指している。

さらに、第5学年では、中谷医工計測技術振興財団の科学教育助成を受け、大牟田市内の他の学校（玉川小学校、上内小学校、吉野小学校、中友小学校）と協働して、有明海につながるそれぞれの地域を流れる川の調査を行い、5校合同環境・川サミットを開催し、分かったことや考えたことや実践したこと等について交流している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	単 元 名		内 容
1年	はなややさいとなかよし 【5～9月】	(生活科)	・緑の教室 ・緑のカーテンづくり
2年	おいしい野菜をそだてよう 【5月～11月】	(生活科)	・腐葉土を使った野菜づくり
3年	めざせエネルギー博士 【9月～12月】	(総合的な学習の時間)	・ソーラークッカーを使ったエコクッキング
4年	くらしの中のエネルギー 【4～9月】	(総合的な学習の時間)	・自然体験 ・壁新聞作り
5年	ぼくたち、私たち環境探検隊 【6～11月】	(総合的な学習の時間)	・堂面川の水質・生き物調査 ・科学教育振興プログラム実践
6年	エネルギーの町 大牟田 【4～10月】	(総合的な学習の時間)	・大牟田世界遺産見学 ・GT 招聘授業

3 特徴的な活動事例

(事例1) 第3学年 総合的な学習の時間

(1) 単元名 めざせエネルギー博士

(2) ねらい

- 太陽光を中心とした自然エネルギーのよさについて調べ、自然エネルギーに対する興味をもつ。
- エコクッキングの体験活動を通してエネルギー消費と環境とのかかわりについて考える。



【ソーラークッカーを使ったエコクッキング】

(3) 実践の展開

理科「太陽の動きとかげのようすを調べよう」や「太陽の光を調べよう」の学習をもとに、

太陽の光がもつエネルギーについて興味をもち、生活に活かすことができるのかという課題を設定した。

課題の追究場面では、太陽エネルギーについて調べ、ソーラークッカーで調理実験を行い、太陽エネルギーのすごさを実感することができた。次に、太陽エネルギーを中心とする自然エネルギーは実際にどんなところで使用されているのかという新たな課題を設定した。

課題解決ためには、インターネットや本を使って、調べ学習を行った。調べた内容については友達と共有し、新聞にまとめた。また、まとめ・表現・発信の場面では、他校との交流を行い、自らの課題解決をさらに深めていった。

子どもたちは、これらの学習活動を通して、再生可能エネルギーが自分たちの暮らしの中でも利用されていることを知り、今後さらに重要なエネルギーであることに気付くことができた。

(事例1) 第5学年 総合的な学習の時間

(1) 単元名 ぼくたち、私たち環境探検隊

(2) ねらい

- 川の環境を守ることについての課題をもち、解決に向けて行動する。
- 川の水質検査・生き物調べを通して分かったことや考えたことをポスターにまとめる。
- 市内の他校との意見交流を通して、自分の生活を見直し、ふるさとの川や海を守るために自分たちにできることを考え実践する。

(3) 実践の展開

校区を流れる堂面川にごみがたくさんあることから、川の様子を調べるといった課題を設定した。課題の追究場面では、上流と下流での調査活動を通して、下流と上流に住む生き物や川の汚れに違いがあることや、GTの先生と一緒に透視度計やCODパックテストを使って、科学的に汚れの違いを知り、川を汚す主な原因が生活排水だということに気付いた。

まとめ・表現・発信の場面では、堂面川の環境を守るために自分たちにできること「食べ残しをしない・洗剤はなるべく控える・油を流さない等」を考え取り組み、全校のみんなにも呼びかけた。また、他の学校と5校合同環境・川サミットを行い、学んだことを交流し合った。

子どもたちは、学習を通して、それぞれの校区を流れる川をきれいにするには、川の環境を守るだけでなく、【5校合同川サミットでの発表】その先につながる有明海を守っていくことになることを実感していた。



2 本年度の成果と課題

○成果

- ・各学年の発達段階に応じた、系統的なカリキュラムに沿って取組を行ったことで、暮らしを支えるエネルギーに興味をもち、「エネルギーを大切にする」意識を高めることができた。
- ・「節電や節水」、「給食を残さず食べる」などの環境保全に向けた行動の変容が見られた。

○課題

- ・学校で行っている授業や行事、委員会活動など、子どもたちがSDGsを意識して、関連づけて考えることができるように、掲示物や学習ノートなどにSDGsのロゴを貼って意味づけを図り、学習していることとSDGsのつながりについて「見える化」を図ることが課題である。